



ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2266 号
一般社団法人投資信託協会 加入
一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

2026 年 3 月 10 日

受益者様ご各位

ファイブスター投信投資顧問株式会社

「ベトナム&アジア成長国ファンド」の基準価額下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日「ベトナム&アジア成長国ファンド」の基準価額が、2026 年 3 月 9 日の基準価額に比べ **5.07%** 下落いたしました。この下落の要因と市況概況に関しましてご報告いたします。

敬具

記

(1) ファンドの基準価額と騰落率

ファンド名	3月9日 基準価額	3月10日 基準価額	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
ベトナム&アジア成長国ファンド	10,485 円	9,953 円	▲532 円	▲5.07%

(2) 基準価額の下落について

2026 年 3 月 10 日、ベトナム&アジア成長国ファンドの基準価額は、前営業日の 3 月 9 日と比較して **5.07%** 下落いたしました。当ファンドの基準価額は、保有している有価証券の前営業日の価額に基づいて計算されています。したがって、3 月 10 日の基準価額の下落は、前営業日の 3 月 9 日における指定投資信託証券の円換算価値が、前々営業日の 3 月 6 日と比較して下落したことが主な要因です。当ファンドが組み入れている指定投資信託証券は、ベトナム・ロータス・マザーファンド、フランクリン FTSE インド ETF、i シェアーズ MSCI フィリピン ETF になります。実際、3 月 9 日のベトナム VN 株価指数は 3 月 6 日と比較して **6.5%** 下落し、インド SENSEX 指数とフィリピン総合指数は、それぞれ **1.7%**、**5.0%** 下落しました。



3月9日のアジア株価指数の下落の主な要因は以下の通りです。

① 原油先物価格の高騰

米国とイスラエルの対イラン戦争拡大懸念を受けて、WTI 原油先物価格は一時 1 バレル＝120 ドル間近まで急騰しました。「ホルムズ海峡の封鎖」という最悪のシナリオが現実味を帯び、世界的なインフレ再燃と景気後退が同時に進む「スタグフレーション」への不安が投資家心理を悪化させました。

② 3月6日に発表された2月のアメリカ雇用統計の悪化

非農業部門の雇用者数は前月比 9 万 2000 人減と、事前の市場予想（5 万～6 万人増）を大幅に下回るマイナスとなりました。1 月分も下方修正され、失業率は 4.4%に上昇。これまでソフトランディングを信じていた市場参加者にとって、米国の雇用悪化は予想外の結果となりました。

③ イラン情勢を巡る緊張の激化

イランが最高指導者の後継にハメネイ師の次男を選出したことを受け、トランプ政権による対イラン方針の硬化により緊張が激化。アメリカ国務省がサウジアラビア駐在の外交官らに出国を命じたとの報道などにより、本格的な軍事衝突への警戒感が増大しました。

当ファンドは、ベトナム株の組み入れ比率が最も高いことから、ベトナム株式市場の影響を大きく受けます。ベトナム経済は 2026～27 年に、名目 GDP（国内総生産）でタイを上回り、東南アジアでインドネシアに次いで 2 位となる公算が大きく、良好な成長見通しが期待できます。また、昨年後半にはイギリスの有力指数提供会社である FTSE 社が、ベトナム株式市場をフロンティアから第 2 新興国へ格上げすることを発表し、ベトナム株式市場の信頼度を認めた形となりました。今年 9 月には実際に新興国指数への組み入れが実施される予定であり、世界中の資金がベトナム市場に流れ込むことが期待されます。ベトナム株やアジア成長国株は将来の株価上昇の魅力が十分にあるものと考えますが、値幅の大きな相場展開が続くおそれがあります。今後もより一層慎重かつ冷静な運用を心がけてまいります。

以上

-
1. 本レポートで使用した株式指数や騰落率等の数値は、Bloomberg 等のデータに基づき、ファイブスター投信投資顧問が作成したものです。



ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2266 号
一般社団法人投資信託協会 加入
一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

2. 本資料はファイブスター投信投資顧問が情報提供を目的として作成した資料であり、法令に基づく開示書類では有りません。本レポートに記載の内容は、将来の運用成果や内容を保証あるいは示唆するものではありません。
3. 本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、ファイブスター投信投資顧問はその完全性・正確性に関する責任を負いません。

【投資信託に係るリスク・費用について】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。投資信託の信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。内容・リスクを十分にご理解の上、お申込ください。詳しくは、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆ お客さまが直接的にご負担いただく費用

【ご購入時の費用】 上限 3.30%(税込)

【ご換金時の費用】 信託財産留保額 上限 0.30%

- ◆ お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用

【運用管理費用(信託報酬)】 上限 年率 2.365%(税込)

※ 上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

【その他の費用・手数料】 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他の費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ファイブスター投信投資顧問株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なります。ご投資をされる際には、個別商品の詳細について、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

【その他の留意事項】

- 本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した情報提供を目的とする資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご確認のうえ、お客さまご自身でご判断ください。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 本資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証あるいは示唆するものではありません。また、原則として表示桁数未満を四捨五入しています。記載内容は作成時点のもので、予告なく変更する場合があります。
- 本資料に記載された過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。記載された指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。

【委託会社の照会先】

ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業 関東財務局(金商) 第 2266 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お客様デスク 03-3553-8711 受付時間：午前 9 時～午後 5 時まで（土・日・祝日・12 月 31 日～1 月 3 日を除く）

ホームページアドレス <https://www.fivestar-am.co.jp/>